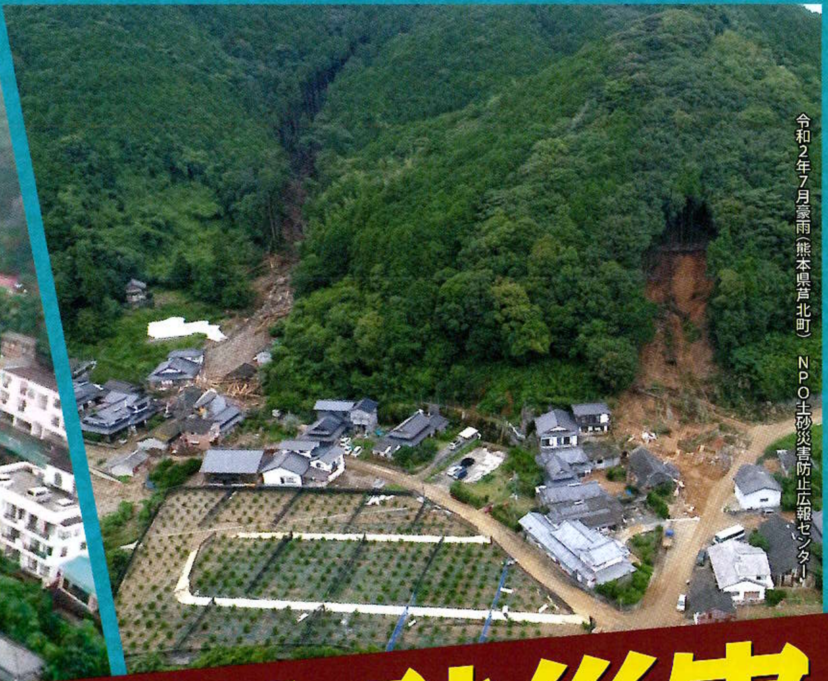
令和3年7月の大雨で発生した土石流（静岡県熱海市） 国土交通省砂防部資料

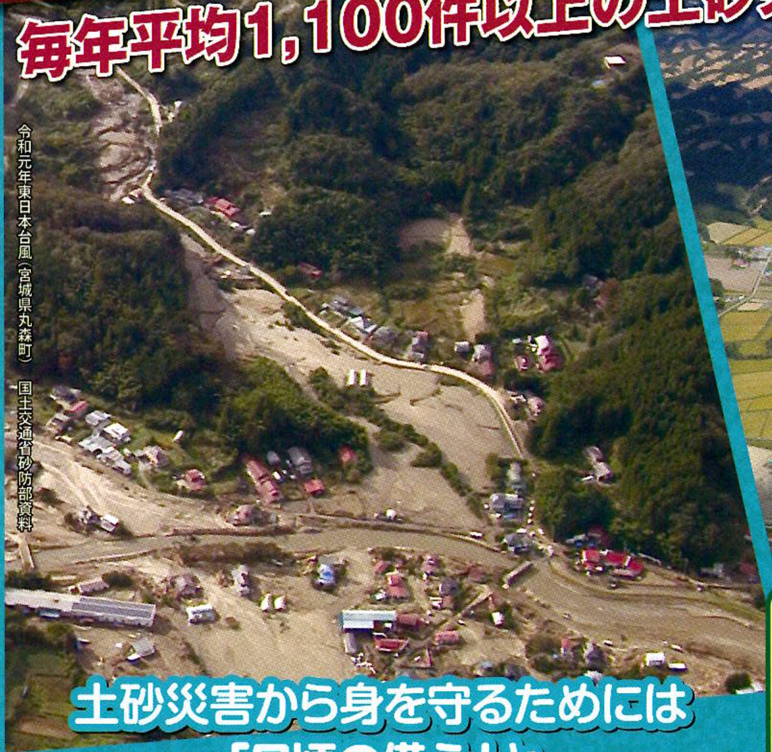


令和2年7月豪雨（熊本県芦北町） NPO土砂災害防止広報センター

突然迫る脅威 土砂災害

毎年平均1,100件以上の土砂災害が各地で発生しています!!

※昭和57年以降　出典:国土交通省砂防部資料



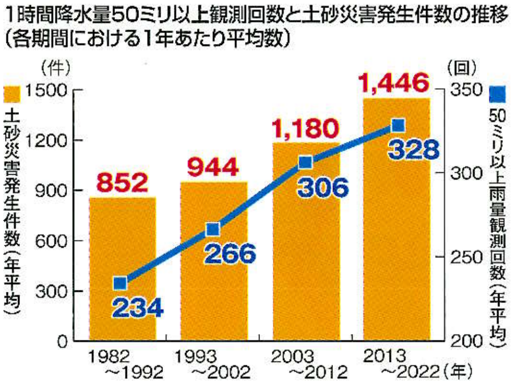
令和元年東日本台風（宮城県丸森町） 国土交通省砂防部資料

平成30年北海道胆振東部地震（北海道厚真町） NPO土砂災害防止広報センター

異常な豪雨が増えている?! 頻発する土砂災害

近年は1時間に50ミリを超える非常に激しい雨（滝のように降る）が増加している傾向にあり、これに伴って各地で土砂災害による被害が多発しています。

1時間降水量50ミリ以上観測回数と土砂災害発生件数の推移（各期間における1年あたり平均数）



※降雨回数は気象庁HP、土砂災害発生件数は「令和4年の土砂災害」国土交通省砂防部をもとに作成

土砂災害から身を守るためには「日頃の備え」と「早めの避難」が大切です

みんなで防ごう土砂災害

土砂災害防止月間 6/1→30

がけ崩れ防災週間 6/1▶7

主催：国土交通省・都道府県

制作・発行：NPO法人土砂災害防止広報センター

土砂災害から命を守るために

日頃の備えと早めの避難

日頃から住んでいる地域の危険度を把握する

がけや渓流の付近など、土砂災害によって生命や身体に危害を生じるおそれがあると認められる場所は、都道府県によって土砂災害警戒区域等に指定されます。土砂災害のハザードマップ等を参照して、お住まいの場所が土砂災害警戒区域等に当たるかどうか、平時にあらかじめ確認しておきましょう。

※これらの区域等にお住まいの方は土砂災害からの避難が必要です。

雨が降り出したら気象情報に注意

避難行動を確認

お住まいが土砂災害警戒区域等に該当する方は、雨が降り出したら避難行動を確認し、いつでも避難できるように準備しておきましょう。

警戒レベル 1～2 避難準備

豪雨になる前に早めの避難行動を

お年寄りは速やかに避難

大雨が降りそうな時、夜間に大雨が予想される場合、お年寄りや避難に時間がかかる方は避難を開始しましょう。

警戒レベル 3 高齢者等避難

大雨時には危険な場所から避難

土砂災害発生の危険度が高まった時には土砂災害警戒情報が発表されます。

土砂災害警戒情報が発表されたら速やかに避難しましょう。

警戒レベル 4 避難指示

どうしても避難が難しいときは

土砂災害の多くは木造一階で被災しています。豪雨などでどうしても避難所への避難が困難なときは、次善の策として、近くの頑丈な建物の二階以上に緊急避難したり、それも難しい場合は家の中でより安全な場所(例えば、がけから離れた部屋や二階など)に避難しましょう。

警戒レベル 5 緊急安全確保

出典：国土交通省砂防部・内閣府ウェブサイトより

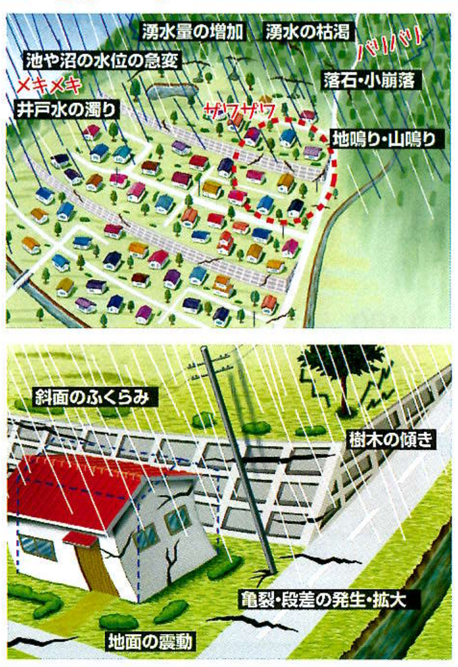
こうした現象は土砂災害の前兆現象です

こんな現象を見たら…聞いたら…早めに避難しましょう。

キケンな場所には近づかないようにしましょう。

※ここに紹介した現象が、土砂災害発生の前兆現象の全てではなく、また、これらの現象が見られなくても土砂災害が発生する場合があります。

地すべり



土石流

がけ崩れ